

35 立山砂防事業の促進について

常願寺川上流にある立山カルデラ内には、安政5年の飛越地震に伴う山腹大崩壊により発生した土砂が現在も約2億立方メートル堆積し、降雨毎に土砂が流出し続けていることから、土砂の生産抑制や流出抑制が必要であります。

また、本市は平成26年にロックフェラー財団から日本で初めて「100のレジリエント・シティ」に選定され、平成29年3月には「富山市レジリエンス戦略」を策定したところであり、立山砂防事業は同戦略においても本市の治水対策の根幹をなす事業として位置づけているところであります。

つきましては、流域住民が安全で安心な生活を送ることができるよう、**立山砂防事業の推進**について格段の配慮をお願いします。

(施行者：国)

